

令和8年度 第1回 総合教育会議

小・中学校再編統合の成果と課題 ～閉校施設の今後の在り方～

2026/07/24 教育総務課

1 小・中学校再編の状況

「阿南市立小・中学校再編基本計画」 令和5年2月

「阿南市立小・中学校再編実施計画」 令和6年9月 を策定

3期からなる実施計画の第1期計画（令和6年～15年）を推進中

第1期の再編の概要	中学校	9校	⇒	5校に再編
	小学校	21校	⇒	15校に再編

令和6年度末 椿町中学校 閉校

令和7年度末 椿泊小学校 閉校

令和8年度末 加茂谷中学校、新野東小学校 閉校

今年度 新野中学校、福井中学校、福井小学校では、学校再編検討会で協議中
ほか、第1期対象校で、保護者説明会等を予定

通学手段の確保

スクールバス運行

通学に特化した路線バスの実証運行

(旧椿町中学校区、旧椿泊小学校区)

(加茂谷中学校区)

2 閉校施設の今後の在り方

これまで、児童生徒が減少した学校 ⇒ 「休校」の措置

利用状況： 避難所、投票所、行政財産の目的外使用による一時利用

▶ 多様な利活用を図ることが出来るように

今後、学校再編により学校として使用しない施設 ⇒ 「廃校」の措置

休校施設の状況

学校名	休校年度	建設年度 ※屋体	備考
蒲生田小学校	H4	S54・S57	屋体未耐震
大井小学校	H6	S45・S58・S62	一部未耐震
福井南小学校	H11	S47・H02	校舎未耐震
新野西小学校	H21	S52・S57	屋体未耐震
伊島小学校	R4	S50・H12	
伊島中学校	R4	S63・H12	
椿町中学校	R7	S62・S63・H4	
椿泊小学校	R8	H09・H19	

▶「阿南市公共施設等総合管理計画」を踏まえた検討

本計画は、本市の公共施設を総合的かつ計画的に管理を推進するため策定

背景・課題： 人口減少など、社会情勢の変化への対応

目指す姿： 持続可能な行政経営の実現

必要なアプローチ： 公共施設全体の現状の正確な把握

長期的な視点に立った「あるべき姿」の検討

▶▶閉校施設の利活用にあたって

- 用途変更の検討
- 民間・団体への売却移譲の検討（民間提案制度を活用）
- 廃止の検討

▶ 要検討事項

学校施設を新たな用途として整備するにあたり、注意・確認事項

- ・都市計画法、建築基準法、消防法等法規制への適合について
- ・用途変更に併せ長寿命化等の改修について
- ・維持管理費など固定費の検討について
- ・避難所や投票所としての利用状況について（関係課と要協議）
- ・利活用後の所管について
- ・借地について

▶ 方向性を決定するまでの手順（案）

①地域での説明（諸条件・取組についての合意形成）

- ・ 地域の考えや思いを把握
- ・ 施設の状態（老朽度等）から利活用の条件（改修・維持管理コスト）の共有
- ・ サウンディング型市場調査による施設の可能性を調査

②公共施設の充足状況の確認や民間提案制度による民間事業者のニーズの確認など必要なプロセスを経る

③上記を踏まえて、市としての方針を決定

▶▶ 決定方針を推進するため、市長部局との連携が不可欠

第3章 学校再編実施計画

4. 市長部局との連携

学校再編により学校施設として使用しない施設や現在休校している施設は廃校を検討し、施設の有効活用、老朽化した施設の解体や学校敷地の活用を市長部局と連携しながら進めます。

- ▶▶▶ 適切な手順の確立と、行政部門を横断した検討を通じて、最適な利活用方法を、市として判断することが肝要。